

2/11（日） 冬合宿C組（日帰り） 天狗西尾根ピストン

参加メンバー：A, F, O, T, H, N（6人）

天気、曇り。視界は悪くない。途中少し明るくなった時もあったが終始展望は無かった。

連日、早朝マイナス10度以上の日が続いていたが、里の気温は0度。寒さは感じない。

A組と同じく唐澤鉱泉入口と桜平との分岐～登る計画であったが、前日入山していたA組から雪が少ない上に入山者があり、ラッセル無しで夏沢峠まで行ったとの情報あり。分岐には雪を積んだままの車が7～10台くらいあり、入山者の多さに驚く。

雪が少ないとつまらないとのリーダーの判断もあり、唐澤鉱泉から登ることとなる。前夜、降雪があったにもかかわらず鉱泉まで車で入ることができたのはラッキーだった。

昨夜降った10センチあまりの積雪のためトレースは消えている。新雪の中を壺足で歩行する。雪山初心者が3人いるC組の目的は雪道歩行に慣れる事と雪山を楽しむこと。慣れるというより緊張感が先か？

汗をかかない様に歩くのが鉄則なのに、汗かきの筆者には難しい。かなりの薄着で歩き出したが、すぐに汗ばんでくる。ジッパーを空けたり、帽子を脱いだりと工夫はするがこれ以上は脱げないから仕方がない。

先頭は20代のN君。さすがにパワフルで何度も「ゆっくり行って」とリーダーから声がかかり申し訳ない。

新雪の壺足は慣れないため急登になるとずり落ちてしまう。キックステップをしながらの登攀は結構疲れる。雪が深く急登になり、先頭のN君がスノーシューを付けて進もうとしたが、かえって登りにくいとの事。結局壺足で進むことに。コースの2/3くらい過ぎた頃、後ろから単独の男性登山者が来て前に行ってもらおう。

「トレース付けておきましたよ。これから先はよろしく！」

展望台の少し下で腰までの吹き溜まりがあり、前を譲った男性が悪戦苦闘していた。先頭を交代しながらN君の頑張りで何とか進むことができた。吹き溜まりを脱出したら急に雪が少なくなりすぐに展望台に到着。風が強いので林の中に入り昼食にする。

息が上がって体調が思わしくないHさん。強風の為か寒さもあり着こむが表情は不安げである。

依然、展望は無くこの先行っても展望は望めないし、目的は達成したとのリーダーの判断で、下る事となった。単独の男性は行けるところまで行ってみると言って、先に進んで行った。

下りでのこと。リーダーが「こんな時は何も歩かなくても滑りながら行くといいんだよ」と言って見本を見せてくれた。靴と、時々お尻で滑りながら一気に下った。勢いがつきすぎて雪の中に突っ込んだこともあったが、童心に還ったようでなかなか楽しい。

途中からリーダーとN君で先に行ってもらおうことに。林の中をショートカットしながらどんどん下って行き、それなりに楽しんだ模様。

下りは早い。登りは3時間余りかかったのに、1時間位で下りてしまった。

先頭でパワフルに頑張ってくれたN君。ありがとう！！若いっていいね！！感謝です。

駐車場でこれから登り始める2人の男性あり。展望台までと言っていたけどこんな時間からでいいの??

【コースタイム】

6:10 茅野市運動公園P ～ 唐澤鉱泉 7:20 ～ 10:30 展望台 昼食、休憩 11:00 ～

12:05 唐澤鉱泉 ～ 13:00 茅野市運動公園P

